

実施期間・参加人数・滞在都市・現地交流校について

平成 25 年 7 月 20 日（土）から 7 月 29 日（月）までの 10 日間、2 年生 24 名がオーストラリアのケアンズ市、アサートン市にホームステイしながらアサートン・ステート・ハイスクールと交流しました。

実施概要について

- (1) 派遣国 オーストラリア
- (2) 派遣期間 平成 25 年 7 月 20 日（土）～7 月 29 日（月）
- (3) 派遣人員 26 名（引率教諭 2 名・生徒 24 名）
- (4) 主な訪問都市 ケアンズ市
- (5) 交流および研修内容
 - 英語圏にある国の生活文化や習慣に触れさせるとともに、ネイティブスピーカーによる英語研修、現地の学生との交流やホームステイを通して国際理解を深め、英語力の向上を図る。
 - 世界に福島を発信する。
 - 現地のエネルギー事情について学習する。

福島の現状発信や現地におけるエネルギー学習について

【別紙参照：生徒事後研修生徒報告書から】

実施後の反省について

- (1) 事前指導により、充実した研修とすることができた。
- (2) 現地校への授業参加やアボリジニ体験など現地でしか体験することのできない研修をおこなうことができた。
- (3) 現地校、現地コーディネーターとの連絡を密にしたことで安全に研修を実施することができた。
- (4) 福島の現状を伝える活動について
現地受入校にて福島の現状をさよならパーティーの際のアクティビティ（ホストファミリー参加の〇×クイズ）に組み込み伝えることができた。
- (5) 現地の環境・エネルギー事情について
現地で環境団体 Missing Link の Ms. Kim Forde さんより講義を受けオーストラリアでのエネルギー事情について学習した。



<p>・ There are ten nuclear power stations in Fukushima prefecture.</p> <p>The first nuclear power station, with reactors No.1 through No.6, and the second nuclear power station, with reactors No.1 through No.4, are in Fukushima prefecture's Futaba district. This time, Fukushima was damaged by a hydrogen explosion at the No.1 through No.4 nuclear power stations because of this earthquake & disaster.</p>
<p>・ 福島県原発は10基ある。 ○</p> <p>福島県双葉郡に第一原子力発電所1号機～6号機があり、第二原子力発電所1号機～4号機がある。今回の震災では第一原子力発電所の1号機～4号機の水素爆発によって福島県全域が被害を受けた。</p>
<p>*「Electricity from an atomic power station in Fukushima has been used in Fukushima.</p> <p>」</p> <p>Electricity from an atomic power station in Fukushima has been used in Tokyo. Without knowing that you are using Fukushima's electricity in Tokyo, people say bad things about Fukushima prefecture, and hurt our reputation across the country badly .</p>
<p>「福島県原発で作っている電気は福島で使われているか」</p> <p>福島の原子力発電所でつくられた電気は東京で使われています。東京で使う電気を福島で作っていることを知らずに、風評被害にあった福島県民を悪く言う人も全国で少なくありません。</p>
<p>As for us, life continues to be hard due to the nuclear plant accident and the damage of the tsunami by the East Japan great earthquake disaster that occurred the year before last.</p> <p>But we receive support and the volunteers from other countries, so some are recovering little by little.</p> <p>We want to work hard for reviving from now on, while telling what happened in Fukushima to the people of the world.</p> <p>Thank you for listening.</p>
<p>私たちは、一昨年発生した東日本大震災により、原発事故や津波の被害でまだまだ苦しい生活が続いています。</p> <p>ですが、他国からの支援やボランティア活動を受け、少しずつ回復しています。これからも私たちは、福島で起こったことを世界中の人々に伝えながら復興に励んでいきたいと思えます。</p>

エコエネルギーについて (一部抜粋)

エコエネルギーについてオーストラリアの専門家の方に来ていただきお話を伺いました。まず、地球温暖化とはオゾン層の破壊、温度が上昇して白熊が住めなくなる、水位上昇などたくさん問題が起きてしまうことです。これを防ぐためにはエネルギーをあまり使わないようにする必要があります。そのためには、節水・節電・地元の野菜を使うなど私達にもできる身近な努力も大切になってきます。オーストラリアではほぼ一人ひとり車を持っていて1日にそれぞれ100kmほどの長距離を走ります。これがエコフットプリントを上げる原因となっています。エコフットプリントとは、一人が生活するのにどれくらいの土地が必要かを計算したものです。これを下げるために4つの風力発電でエネルギーをつくる政策がされています。オーストラリアの人々は木をととても大事にしている No tree No me 「木がなかったら自分たちは存在しない」というステッカーを車に貼ったりしています。この講義を受けた皆さんのことを学ぶことが出来たので少しでもこれからの生活で実践していきたいです。